

2019/02/22 Mail

RSY 事務局浦野氏からの情報

昨日発生した地震で、現地派遣している吉林から続報が入りましたのでご報告します。

吉林は、地震発生直後から、札幌を拠点に支援を行っている「一般社団法人 Wellbe Design」の西村氏と共に活動に当たっています。報告には、直後の揺れの様子や、宿泊施設での避難誘導、つながりのある住民の方々の様子などが書かれています。尚、吉林は午前中に地域を巡回し、心配な方々を訪問した後、本日の便で一旦名古屋に戻ります。

また、現地入りしている震つなの他団体からは、・南から北へ電子レンジや2段ベッドが動いた(飛んだ)・食器棚の食器が全部床に落ちた(前回の地震で全壊判定を受け、傾いた家にお住いの方)などの住民の声も届いています。

一見大きな被害は見受けられませんが、前回の地震の影響でもろくなっている分、細かいところに被害が出ている可能性もあり、注意深い状況把握と、余震への警戒が必要です。

-----以下吉林の報告

21:22～ 地震発生。むかわ町、四季の館4階の部屋に宿泊。横揺れで電気が消えたりついたりしている。部屋のドアを半分開けて様子を見てみると、揺れが徐々に強くなり、立っていられなくなり、ドアが閉まる。携帯を持っておらず部屋の中にカギを置いてきたため、ひとまず階段で避難。

地震発生のアナウンスと同時に、「1階で火災発生」というアナウンスが流れる。エレベーターの扉は開いた状態で停止。実際に火災は発生しておらず、地震の影響で誤作動した様子で従業員が確認に走る。西村さんと合流。

西村さん指示のもと、宿泊者に避難の声かけ。不安な人には付添い、一緒に外に出てもらう。誘導が落ち着いて、地震情報を確認しつつ、フロントにお願いし4階の部屋へ。念のため、各階の出入り口にドアストッパーまたはクリーニング袋を置いてドアを開けた状態にしつつ上がる。

21:50～西村さんとむかわ町役場、2階総務課へ。

10人ほどの職員が電話での安否確認やホワイトボードに情報をまとめるなど、冷静に対処されていた。この時点で自主避難所として、四季の館(約5名が避難)、穂別町民センター、中央小学校が開設。

22:00～むかわ町災害ボラセン開設。

吉林はこれまで支援で繋がった地域の方々に電話にて安否確認を行い、連絡のつかなかった1名を除き、全員が無事であることを確認。

23:00～むかわ町災害ボラセンが解散。

避難所の見回りは引き続き、役場職員で交代して対応。穂別在住の社協職員が独居高齢者の世帯を巡回中という情報が入る。

むかわ町保健師と情報共有

- ・仮設住宅や指定管理の施設などへ数名の職員で直接確認が完了している。寝ている様子の世帯もあり、無理に声はかけないようにした。
- ・住民からは「やっと半年たって、ようやく眠れるようになってきたのになあ」という声や、室内にいるのが怖いため、家族で少し周辺をドライブする世帯も見られた。
- ・四季の館で引き続き滞在予定の方へは毛布と水を配給し、2階へ誘導。
- ・役場の体制が縮小されたため、吉林は宿へ。戻ると、トイレ周りが地震の揺れで水浸しになっており揺れの激しさを感じた。

(住民の声・生活の様子)

★厚真町仮設住宅住民

- ・やっと半年たって、落ち着いてきたのにまたか、だわ。しばらく大きいのはなかったから、怖かった。余震が心配。同じ仮設の別の部屋で暮らしている娘夫婦と一緒にいるの。今はは自分の部屋に戻ったよ。

★厚真町ルーラルビレッジ

- ・断水中。前回も1か月以上続いたことを感があると、長期化が不安。

★むかわ町在宅避難者住民

- ・棚のものが少し落ちた程度で済んだのでよかった。